

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2022 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2251
研究開発課題名	環境 DNA 技術に基づいた水産資源・環境モニタリングの全自動装置による省力化
研究代表者	海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 主任研究員 福場 辰洋

総合評価

装置の汎用性を高める改良を行い、量産段階に移行できるレベルまで進んだと評価できる。顧客調査により本装置の需要が明らかになったが、データ解析からコンサルティングまでのトータルサービスによりビジネスが成立すると想定でき、事業モデルの具体的な構築が必要である。

以上